婦選獲得同盟會報

第二十一號

（昭和八年度報告及第十一回總會報告）

婦選獲得同盟

婦選獲得同盟會務報告

昭和八年度（自昭和八年四月 至昭和九年三月）

一、現勢

昭和七年度に於ける本會の運動は、八年度の目標中第四項の「婦選以外でも婦選に關係深い問題に對しては實際運動を行ふこと」に自然的に集中された觀がある。即ち前年度より繼續の東京中央卸賣市場問題の他に、東京婦人市政淨化聯盟の共同運動による瓦斯問題、新稅反對等の新運動が行はれ「一票なりとも婦人の力を自治政に反映せしめ」得たと同時に、この運動を通して目標第二項の「一般婦人の公民教育」をも多分に行ふを得たのである。

昭和八年度末（昭和九年三月三十一日）に於ける會員總數は一四三一、贊助員三四、其分布は一道三府四十三縣は固より、臺灣、樺太、朝鮮、滿洲、支部より英、米、白に及ぶ。支部總數は十三、支部準備會二。

昭和八年度通信總數、發信三六九〇〇、受信五七九三。

二、第十年々次總會

昭和八年四月廿三日(日)午後一時半より、麴町公會堂に開催。出席者四十餘名。

一、挨拶　總務理事

二、昭和七年度會務報告（會務理事、各委員長、幹事長）

三、昭和七年度會計報告（會計理事代理）

四、議案

1. 規約改正案（可決）

會費値上―正會員費を年額二圓とし、「婦選」を無代配布する。

代議員制度確立―總會出席者の資格を會員廿名に付一名の割で支部より選出せる代議員、並に本部役員とする。

役員―副總務理事二名新設、平理事廢止

部の新設―政務、議會以外の四委員會を部と改稱

支部の件―一地方十名を以て組織し得

會費納付期―五月より六月迄と限定

2. 昭和八年度運動方針（可決）

一、婦人參政權の即時獲得

二、一般婦人の公民教育

三、支部を各府縣に設けること

四、婦選以外でも婦選に關係深い問題に對しては實際運動を行ふこと

3. 會館建設の件（可決）

4. 昭和八年度豫算（可決）

五、廢娼問題に關する決議

六、役員選擧

全國會員よりの推選に基きて投票、立會人五名を設けて開票。

三、創立九周年記念會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

昭和八年度記念會は十三日をくり下げて十二月十六日(土)午後一時より、神田駿河臺東京基督教女子青年會館に開催。出席者三十二名。來賓にベエティ博士、信夫淳平氏、カフマン女史、黒野香潤氏等を迎へ、小出新潟支部長の出席をも得、和氣藹々たる會合を有つ事を得た。司會は加藤梅子氏、市川總務の挨拶、宮川靜枝氏の創立當時の思ひ出話に次で、本年度活動の收穫たる映畫「塵も積れば」並に市の好意で新作の「土木篇」更に婦人市政淨化聯盟有志による對話劇「お春さんの夢」の演出あり。記念撮影後一しきり寛談に時を過した。

四、第五回婦選大會

昭和九年二月十八日(日)午後零時半より、芝公園協調會館に於て、前年同樣日本基督教婦人參政權協會、婦人參政同盟、婦選獲得同盟、社會大衆婦人同盟、子供の村母様學校、國民婦人會の五團體の共同主催。後援も同じく、日本基督教婦人矯風會、日本紡織勞働組合、東京基督教各派聯合婦人會、東京婦人市政研究會、東京府產婆會、東京聯合婦人會、東京女子藥劑師會、友の會、婦人同志會、婦人平和協會、日本婦人記者倶樂部、佛教女子青年會、基督教女子青年會日本同盟、全國小學校聯合女教員會、青バス現業員組合、全關西婦人聯合會の十六團體。出席者約五百名。本年は議題の範圍を擴げて一般婦人問題を取上げ、討議を中心とする事は前々回以來の方針に從つた。本會地方代表の出席は、秋田、群馬、兵庫、石川、京都、新潟、愛知に及んだ。司會は高木富代氏(參同)、大會挨拶は市川房枝氏、議長は金子茂氏、副議長は岩内とみゑ氏(社大)。

議題は、

一、目下の狀勢に於ける婦選獲得の促進方法の檢討
二、現下の教育問題に就て婦人として母として考慮すべき點如何
三、法律上に於ける婦人の地位を高めこれを保護する方法如何

四、婦人の立場よりみたる國家經濟について
五、國際平和の實現に對し最も有效なる婦人協力方法如何

決議は左の通りである。

決議

國家非常時の叫びは高しと雖も、綱紀は弛緩し政界は萎靡沈滯、婦人の參加によらずんば、これが打開革正の途は斷じて期し難い。

我等は茲に五度大會を開き、婦選即時實施の要求を提げて政府並に議會に迫る。しかもその急務たるを痛感するや今回に優るはない。蓋に婦人の政治的社會的參與のみが、內外逼迫せる今日の日本を危期より救ふ唯一の途である。

我等はこの確信の下に第六十五議會並に齋藤內閣に婦選の即時實施を要求すると共に、婦人の地位を高め、その力を伸展せしむる左の諸事項の實現を期し、全國婦人大衆の協力により、その達成をみん事を希ふものである。

一、婦人を蔑視せる師範制度改正要求反對
一、婦人の教育行政への參加要求
一、婦人に不利なる現行民法改正要求
一、勞働婦人の保護立法制定の要求
一、產兒制限の公認と墮胎法改正の要求
一、娼妓取締規則即時撤廢の要求
一、母子扶助法制定の要求

一、傷病兵家族の生活國家保障要求
一、國家經濟を無視せる膨大なる軍事費反對
一、戰爭挑發の怖ある出版物取締の要求
一、戰爭反對平和愛好の思想を國民の間に普及する事
一、國際平和實現のため各國婦人との提携の途を講ずる事
一、軍縮會議促進の希望を議長ヘンダーソン氏に送る事

以上

五、他團體との關係

國際婦人參政權及平等市民權協會のロンドン本部に對しては、前年度と何等の變化なし。

國際連絡婦人委員會は、月「婦人團體國際連絡委員會」と改稱、組織も團體本位に變更せられたので、現在の參加團體は、全國小學校女教員會、日本婦人記者クラブ、基督教女子青年會日本同盟、婦人平和協會、佛教女子青年會、社會大衆婦人同盟、日本女醫會、基督教婦人矯風會、婦選獲得同盟の九團體である。本會よりは、市川藤田の二氏が委員として出て居る。

東京婦人市政淨化聯盟は、初め東京支部が參加したけれども、後には運動の聯絡上本部よりも委員を出すこととなり、加藤梅子、金子の二氏が之に任じた。同聯盟が參加して行はれた反稅運動に於ては「勤勞市民稅反對協議會」の共同運動があり、これには金子氏が代表の一人となつた。(詳細は東京支部報告參照)

婦選團體聯合委員會は、前年と變る事なく、別項第五回婦選大會の他、貴族院への請願、婦選團體懇談會等を行つたが、これらは議會運動委員會の項に讓る。

六、本部

▽本部役員

第八年次總會に於て新規約に基き選擧された中央委員廿名は、市川房枝、金子茂、平田のぶ、宮川靜枝、藤田たき、兒玉琴枝、富澤榮穗子、前島ふく、平山信子、小野誠子、大橋豐喜、大坪英子、熊岡貞子、加藤清子(以上東京)八木橋きい、和崎ハル、大畑妙子、小出チカ、黑部妙(以上地方)の諸氏で、一ヶ年に亘り、全員在任せられた。

中央委員會の會合數は十九回。

理事は、五月一日の第一回中央委員會に於て互選の結果、これ亦新規約に從ひ、總務理事市川房枝、副總務理事藤田たき、富澤榮穗子、會務理事金子茂、會計理事前島ふくの五氏と決定。尤も會計理事は九月前島氏の一身上の都合にて辭任、後任として兒玉琴枝氏が十月以後就任せられた。

理事會の會合數は十七回、他に部長委員長理事合同協議一回、本支部役員懇談會を一回開いた。

會計監督は總會に於て北澤玉、米山久子の二氏と決定、各就任をみた。

評議員會は一回も開催しなかつた。

▽職員及事務所

本部職員は金子幹事長の下に、會計幹事兒玉勝子、庶務幹事山崎春枝、庶務辻泰子、小泉みつの諸氏勤務。給仕として七月より左納町子氏入所。他に囑托として集金事務に大橋豐喜、機關紙廣告事務に宮川靜枝の二氏を依囑。四月以來新設の印刷部員としては牛乳事務より轉じたる道昌煥君並に二月初よりは水野太郎君の就任をみてゐる。

印刷部は前年建増して物置として使用せる部屋を以て充てたるも、事務所は益々狹隘を告げてゐる。尙本部電

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

話に、急設申込が當選したる爲に、舊電話を賣却したるを以て、番號が九段四〇二一番に變更した。

▽委員會並に部

理事會に於て推薦の本年度委員長並に部長は左の如し。

議會運動委員會　加藤梅子
政治教育委員會　平山信子
組　織　部　金子　茂
出　版　部　富澤美穗子
財　務　部　兒玉琴枝、後に市川房枝
調　査　部　宮川靜枝

委員會並に部の實務は、幹事として職員が分擔した。

(1)　議會運動委員會

委員長　加藤梅子、副委員長　大坪英子、委員　市川房枝、小野誠子。
委員會は二三回の會合を行ひたるのみ。
本年度の運動方針は、運動は主として婦選團體聯合委員會を通じて行ひ、範圍は婦選問題のみならず他の婦人問題をも取上げる事としたが、各團體とも殆ど婦選團體聯合委員會の委員が、東京婦人市政淨化聯盟、東京中央市場問題協議會委員を兼ねてゐた關係上、本委員會自身の活動力が余程制肘せられた感がある。

▽婦選團體聯合委員會に依る運動

1.　第六十五議會に對する運動

婦選三案は衆議院に於ては法律案として、貴族院に於ては請願として提出の方針にて運動を進めたが、前者は調はず、請願だけは二月末約四十四團體の代表者の署名を得て山縣公爵の紹介を以て提出。三月廿日の請願の委員會に於て審議未了となつた。前年度には不採擇であつたのに比し、稍良好と見做される譯である。
前年度より繼續の都制案特別市制案への婦人公民權の挿入は、關係者へ運動を試みたが、成功しなかつた。
婦選問題以外の婦人問題は、第四回婦選大會の決議に基き手を染める筈であつたが、之も實行に移らなかつた。

2.　議會以外の運動

十月廿七日、日比谷東洋軒に於て、關係代議士其他の贊助者を招いて「第一回婦選懇談會」を開催した。
二月　二日、貴族院有志議員との懇談會を赤坂の幸樂に於て開いた。

▽本會の單獨運動

十月廿三日、本委員會主催の研究會を、加藤委員長宅に於て開催。
尙横濱貿易新報社長三宅磐代議士と交渉し、同紙の議會記者として金子茂氏が入場することの便宜を得た。これは本會創立以來といふよりも、我國の婦選運動開始以來の宿望が達せられたのであつた。委員會よりは三宅氏へ謝禮の微意を表すべく、木村五郎氏の木彫人形一ヶを贈つた。尙委員會として、貴衆兩院議員と會員中の有志とで、繼續的に懇談會を開催する計畫を樹てたが、實行には移れなかつた。

(2)　政治教育委員會

委員長　平山信子、委員　八田篤子、大内光枝(幹事)
運動方針は、大體前年度を受繼いで「婦選の必要」を輿論たらしめると共に、如何にして多數の婦人に政治を知らしむるかについて努力した。
市政講座、見學、及び時局問題研究會等の事業が東京支部の手に移管された爲、政治教育委員會は活動を中止し

たかの觀があつたが、實は東京支部の淨化聯盟並に市場問題婦人團體協議會を通じての中央卸賣市場問題、塵芥處理問題、或は又最近の勤勞市民稅反對運動等には之を指導して、政治教育方面への効果を大ならしめた。
豫定中パンフレットの發行は具體案が樹立せられ乍ら、人手不足の爲殘念乍ら實行を見るに至らなかつた。
遊説も、東京市内の運動に主力が集中せられた爲、殆ど行ふ事を得なかつた。

六月十四日	東　京	新聞學院	金　子
六月廿一日	東　京	早大婦人問題研究會	金　子
七月六日	東　京	誠之舍木曜會	金　子
八月九日	御殿場	佛教女子青年會夏季大學	金　子
八月十八日	靜　岡	見付高等女學校	市　川
三月廿三日	東　京	同志クラブ	金　子

(3)　組織部

部長　金子茂、幹事　兒玉勝子
本年度の方針としては、
一地方十名以上の會員在らば、支部の組織へ進めること。
支部の運動の指導を積極的になすこと。
支部ニュースを發行すること。
會友の會合を特に開くこと。
等を決定したが、成績は會の活動力が中央に集中した爲左の程度に止まつた。

一、支部の組織

新設支部に一つもなかつた。三準備會中、奥は武田清氏病の爲、山形は鈴木たみ術氏滿洲に轉任の爲、札幌に

本部より巡回不能の爲何れも結成に進まずに了つた。

二、支部の休止

松山支部、兵庫支部が五月より休止の據なきに到つたが、兵庫は、一月に到り復活した。

三、會員募集

十一月三日より十九日迄を「會員倍加週間」として「一人が一人を」の募集運動を全會員を通じて行ひ、約廿名の増加を見た他は、特記すべき活動を見なかつた。
加之、會計事務に於て滯納者の整理を行つた結果、會員は左の如く減ずるの他なかつた。

	八年度末	前年度末	差引減
正會員	一、一二一	一、四一三	二九二
正會友	一五一	一七八	二七
維持會員	一一一	一三一	二〇
維持會友	四八	五二	四
合計	一、四三一	一、七七四	三四三

(4)　出版部

部長　富澤美穗、幹事　山崎春枝、十月より辻泰子
編輯委員―大竹せい、金子茂、柴田俉、富澤美穗、平井恒子、平田のぶ、平山信子、宮川靜枝
本年も婦選の編輯及會報(第二十號)發行の程度にて、パンフレット、リーフレット等の發行の希望ありしも實行には至らなかつた。
「婦選」の編輯方針としては、機雑關誌の色彩をうすくし、婦人の各層に觸手をのばし、讀者を廣くして行く

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

味で、今年からは座談會、婦人雜誌評、時代の女性等の記事を新たに入れる事にした。

政治、經濟、外交方面の記事、値下げによる頁數の半減と、筆者難、並に本年は協同の實際運動に力が多く注がれた爲、十分に掲載出來なかつた。購讀者の增加は、「婦選」の婦人各層への進出を意味し、運動の擴大を示してゐる。

編輯委員會數　　十　回

出版部會　　二回

購讀者數　一五二（前年度末四八二より規約改正により會員で購讀者たりし人三五五名を四月中除名した爲）

新購讀者　四四、地方支部扱　約一五〇、外國　七二

印刷部數　二千六百部、會員　約千二百、贊助員　三五、貴衆兩院議員　八四、廣告關係その他寄贈　約三七〇、新聞社へ宣傳　一五〇、市內書店十ヶ所と契約宣傳用として五部宛委託、その他を保存用宣傳用としてゐる。

保證金　は前年度よりの繰越二九五、三〇圓に十圓を加へたのみの三〇五、三〇圓であつた。

(5) 調　査　部

部長　宮川靜枝、幹事　辻春子

昭和八年度より從來の調査委員會を更めて、調査部と改稱。

八年六月廿二日　第一同部會に於て、部としての仕事の內容を限定し、大體の豫定を樹てた。而して幹事によつて寄贈さる、諸雜誌、新聞、單行本等は勿論、特に、諸婦人團體發行の內外諸雜誌は全部整理し、本同盟の運動及び婦人問題に關する新聞記事は凡てこれを整備した。

然し、婦選問題に關する內外書籍の購入備付は、經濟上の都合で極めて小數のものより出來なかつた。

會我國の婦選運動及び一般婦人界の重要ニュースを時々海外に通信し、先方のニュースももらつて彼我の運動に聯絡をつけ、海外婦人運動の動向をも知るよすがとする豫定であつたが、終に年度末に至る迄實行に至らなかつた。部としては何等積極的な仕事を實行出來ず終つたが、同盟自體としては、種々の猛運動に際し必要な調査は適當に敏速に行はれたことを會のため附言して置く。

(6) 財　務　部

部長　市川房枝、幹事　小泉みつ

▽贊助員―贊助員としては前年度の名簿をそのまゝ存置し、三十四名のうち十七名より一一五一、五〇圓入つた。一人百圓ときまつては六ヶ敷しく實際上は二十圓以上百圓さいふことになつてゐる。

▽寄附―十七名より六二三圓入る。別に大會々計繰入れ六〇、九三圓、合計六八三、九三圓、豫算　六六三圓のところ實際は二〇圓餘超過してゐる。

▽事　業

1. 代理部の成績は數字上からは前年度よりよくなつてゐる。

牛乳につき―中野方面配達は細君が印刷部に雇つたので代りに李君に委託。數は前年度より減じてゐるが途中七月より値上げをしたゝめ、利益は前年度より多少多くなつてゐる。豫算六〇〇圓のところ實際は六六五圓の收益あり好成績であつた。

その他の取扱品は九月三省堂の靴下を中止した他前年度と同樣で、

新取扱品

鳴門わかめ（鳴門水產株式會社）五月より

婦人絹靴下（內外編物會社）十月より

を初めた。その他廣告關係から

骨罎（七月より）　高壓鍋（七月より）　骨かまぼこ（十二月より）―淸水理科學研究所

賣希望者があつたゝめ、中澤式天火（昭和九年二月より）を取扱つた。

それらの中ズロースが地方支部からの注文もあり一番好成績であつた。

2. 催　物（觀劇會）九月末か十月半にしたいと思つたが、十一月二十五、六兩日の晝夜興劇を買つた。

切符　賣　一等八〇枚、二等六枚、夜一等六一四枚、二等二〇八枚　利益　一〇〇一、五七圓

豫算一千圓なる故豫算を越え成績は非常に好かつた。

3. 會事務所の小物を印刷する目的で篤志者があつたので手刷りの機械を買ひ、十一月から試みに初め赤字の心配はなくたつたので年度のかはつたのを機會に財務部の事業とする豫定である。

(7) 會館建設委員會

委員長　市川房枝、委員　藤田たき、宮澤美[illegible]、金子茂、前島ふく、兒玉琴枝、平山信子、加藤濟子

第十年々次總會の決定に基き、中央委員會に於て特別委員會を選任。

委員會は、總會決定の方針、即ち「建物の建築費一萬圓の內五千圓は寄附、五千圓は借入（地所は別に借りる）に依る募金を一ヶ年中に行ひ、十周年記念日を以て竣工」の豫定を、研究審議の結果、「二萬圓に增額、但し建物一萬圓（木造約百坪）の他に地所も一萬圓にて購入、この全部を寄附によるさ改め、募金方法は一口拾圓とし、豫約分割を認め、地方へは出張募金も行ふことゝし、一般委員若干名を會員より推薦した。

豫定の募金期日は八年十月より向ふ一ヶ年間、建築竣工期は九年十二月十三日、創立滿十周年記念日迄、地所は四谷、麴町方面。

右の方針に基き、事務を進めたが、小委員會は、委員の身邊多事の爲、僅か四回開くを得たに止まり、募金成

績も捗々しくない。

現金收納	三一、〇〇（氏名別項參照）
豫約申込	九〇〇、〇〇
合　計	九三一、〇〇

現在の計畫は、大口（一口拾圓十回拂）小口（一口一圓）の募金方法により、會員の申込を受け、他に特別募金によりたい考である。

一般委員承諾の分は左記の如し。（順不同）

（東京）山田わか、今井邦子、太田菊子、三浦たま、吉屋信子、田中芳子、辻まつ子、星野愛子

（地方）小出ちか（新潟）八木橋きい（群馬）駒井靜子（金澤）

七、地方支部

本年度に於ける地方支部の運動は、概して不振であつた。その最大の理由は、本部が東京支部を通じての中央に於ける運動に主力を注がれた爲に、殆ど地方的に進出の餘力のなかつた事である。之が近年の反動的社會情勢と相俟つて、地方支部をして、現狀維持に止まらしめたのである。

△東 京 支 部

會員　四七七名

役員　支部長　加藤濟子

副支部長　熊岡貞子、平田のぶ

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

幹　事　（庶務）伊東茂子、（會計）戸塚さみ、（企劃部）大内光枝、和多喜也

事務所　東京市麹町區麹町二ノ三ノ三

△婦人市政講座 ― 東京市の各局課の仕事を學ぶ計畫で、丁度五月塵芥問題の勃發を機として保健局から初め、財務局に及んだ。

五　月　東京市の塵芥問題について　宮川市保健局長

六　月　東京市の屎尿處分について　岡田市清掃課員

七　月　東京市の傳染病院施設並に其豫防について　西尾市衛生課長

十　月　東京市の公園について　井下市公園課長

一　月　東京市の財政について　上原市主計課長

△見　學 ― 主に市政講座に伴つて選み、左記の諸施設を見るを得た。市當局は常に之等に便宜を拂つて下さつた。

四　月　淀橋淨水所、村山貯水池

五　月　塵芥取扱所（日本橋箱崎町）　同處理工場並に野天燒却場（深川區枝川町）

六　月　水道橋屎尿投場、綾瀬處分場

七　月　深川消毒所、駒込病院

九　月　大塚健康相談所、中野療養所

十　月　清澄公園、兒童遊園

△婦人時局問題研究會 ― 毎月一回の豫定なりしも實行は左の程度であつた。

五　月　世界經濟會議に就て　野　田　登氏

七　月　東支鐵道讓渡問題其他　大　竹　博　吉氏

十　月　日印會商を中心とせる世界經濟問題について　野　田　登氏

十一月　米穀統制問題について　岡　田　温氏

△中央卸賣市場問題に對する運動 ― 昭和七年十二月新設の中央卸賣市場の賣買問題に就て消費者の立場より單一制反對の運動を起して都下婦人團體の共同運動を、支部組織と共に本部から受け繼いだ處、其後市會選擧に伴ひ、一時休止の状態であつたが、七月中旬業務規程案の發表と共に運動は再燃し、九婦人團體の「婦人團體中央卸賣市場問題研究會」により七月廿日の市會上程に對して決議。市會傍聽示威等を行ひ、九月に入りて更に三團體の參加により改めて十二婦人團體による「中央卸賣市場問題婦人團體協議會」を組織、ビラまき演説會（十回）陳情、請願（二萬三千五百枚提出）等を四ヶ月に亘つて繼續した結果、運動を婦人團體外にも擴大せしめる事が出來、遂に十二月廿三日市場問題調査委員會に於て複數制は假決定をみ、九年二月十六日の市會を通過、本決定をみるに到つた。

三月十日運動經過報告會に於て、右協議會の組織は一先づ解散、「東京婦人市政淨化聯盟」内に市場問題婦人委員會を設ける事となり、この運動は婦人側の大勝利に歸した。

因に十二婦人團體は

婦人參政同盟、國民婦人會、子供の村母様學校、社會大衆婦人同盟、家庭購買組合婦人部、大東京消費組合婦人部、麹町婦人會、婦人市政研究會、櫻楓會購買部、四谷區婦人會、婦選獲得同盟東京支部、關東消費組合婦人部

△東京婦人市政淨化聯盟の運動

一ヶ年間を通じて、次々と展開する問題に對し、此組織は敏活なる活動を續け何れも成功を收めた。

五月、東京市塵芥燒却工場に煤煙問題勃發するや直ちに實地視察、當局者の意見聽取を行ひ、其對策として塵芥量の減少並に廚芥雜芥區別處理の實現の爲に市當局と協力の運動を開始する事となり、七八の兩月に、區別試驗區域に於て講演會を開催、金子氏作の對話劇「お隣さん同志」を演出、大衆の啓蒙に大に効果あらしめたので八月四日市保健局は、淨化聯盟を清澄公園に招待、其勞を犒はれた。

更に淨化聯盟の熱心なる要望により塵芥處理の映畫「塵も積れば」の撮影が實現し、十月これが作製に際し臺本並に撮影にも婦人側の協力が行はれた。

十二月、市に教育疑獄起るや、八日聲明書を發し、内務省、文部省、市當局に陳情、廓清の一手段として婦人の教育行政參與を要望した。

續いて九年一月、市の新稅計畫に對し、特別所得稅並に傭人稅は小市民の生活を脅威するものなりとの見地より反對運動を起すに決し、都下十六の婦人團體有志と結び「小市民稅、女中稅反對婦人協議會」を組織。更に男子側をも勧誘して「勤勞市民稅反對團體協議會」を組織、各の共同運動によつて、ビラまき、講演會、立看板決議、陳情等々により二ヶ月間の猛運動の結果、三月初旬の豫算市會に於て特別所得稅は年收六百圓以上が八百圓以上に、傭人稅は一人は免除と修正、稅率も二者共低下して、主張の主眼點は實現する事が出來た。

△秋　田　支　部

會　員　一一七名

役　員　田畑染、伊藤昌代、早藤松野、淺クニ、大島シュン、小泉キタエ、信太ヤエ、渡部キヨ、和崎ハル、佐藤貞子、大屋かつ子、菅久子、中村政子

事務所　秋田市長野下新町十三、和崎方

△四月一日より三日間木村五郎氏木彫展覧會を有志主催にて開催、幹事一同連日手傳ふ。

△四月廿六日の市會議員選擧に對し、十八日模擬投票を行ひ、又候補三名を推薦したが之に當日全部當選した。

本庄町、大曲町有志會員も町會議員選擧に、候補者へ婦人の立場より婦選付與、水道施設促進、町營託兒所設置等に關する問合せを發送した。

△縣下遊説には一ヶ年を通じ、和崎幹事が毎月三、四回順回した。

△本庄町有志の間に支部獨立組織の計畫あり、本部の承認を得たるも中止。大曲町に秋田支部に屬し、横手支部も同様となつた。

△役員中、佐藤みや、高山しづ、大淺タカの三氏逝去した。

△第四回婦選大會には、田畑染、中村政子の二氏代表として出席。

△群　馬　支　部

會　員　二七名

役　員　支部長　八木橋きい、幹事　吉野せい、吉田みのぶ

事務所　群馬縣山田郡大間々町一丁目裏　八木橋方

△第五回婦選大會に八木橋出席。

△新　潟　支　部

會　員　二四名

役　員　支部長　小出チカ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

事務所　新潟市西堀通三番町　小出方

△第五回婦選大會に小出チカ、小出千枝子出席。他は支部長家族の病氣にて活動休止。

△金澤支部

會員　三三名

役員　支部長　駒井柳子
　幹事　米山久子、鈴木芳子、津川松尾、野木みどり、岡本芳子

事務所　金澤市油車九　駒井方

△十二月四日の市會議員選擧に、市政淨化運動を起し「市政の淨化は市民の一票」「市政は一家の臺所」等の立看板を、各選擧場に立て、ビラまきを行ふ。

△第五回婦選大會は駒井支部長出席。他には國防婦人會創設等の地方情勢にて活動意の如くならず。

△京都支部

會員　五一名

役員　支部長　栗部妙子
　副支部長　水口糸、榊原彌生
　幹事　石橋擴雅、田中金子、池山薫、若林眞久子

事務所　京都市下京區吉祥院西茶屋仁木ノ森町三七　石橋方

△第五回婦選大會に水口糸、若林眞久子出席。

△兵庫支部

會員　三八名

誌友　二〇名

役員　幹事　岩村伊佐子、澤田しげ

△岩村幹事家族病氣の爲、一時支部の活動を休止したるも、一月以來澤田幹事を得て復活。

一月十二日　本部より金子女史對議會策其他で關西旅行の途を灘購買組合本部に招き、誌友の幹事連で東京中央卸賣市場の單一運動について聽く。

二月十六日　誌友の灘購買組合幹事十五名大阪中央卸賣市場を見學。複數派の日本市場研究所長西村伊之助氏と懇談す。

二月十八日　全關婦選大會に前年度病氣勝ちであつた岩村も回生の年を迎へて大會に參加。澤田と二名出席。

岩村縣下の入試準備撤廢の實情に就いて席上で報告。

△廣島支部

會員　二四名

役員　幹事　村上安惠、林秀子、濱井キクノ

事務所　廣島市鐵本町二十九　村上方

△愛知支部

會員　三九名

役員　準備委員　伊東君子、奥平紹子、飯田しよう、堀場雪子、瀨木せき、所久點

假事務所　名古屋市中區老松町六ノ十六鋼生塾内

△發會式並に記念講演會の計畫は數回樹てたるも實行に到らず。

△第五回婦選大會に、堀場雪子、中村君子、大隈芳子出席。

△熊本支部

會員　四四名

役員　常任幹事　平野松枝、松本キヨ、赤峯千代、石坂多嘉子、菊本テル、大原みさを
　書記　大畑妙子、山下恒子
　會計　川邊みち

事務所　熊本市櫻井町六　石坂方

△一ヶ年間殆ど積極的活動を爲さず。

△松山支部（休止）

△刈羽支部（休止）

昭和八年度決算報告

一般會計の部

入金合計	六〇九三、七五
內譯	
繰越金	二三、〇〇
會費	一八二七、〇〇
正會員費	九四二、〇〇
維持會員費	八八五、〇〇
贊助費	一一五一、五〇
事業費	一八一七、六〇
牛乳	六六五、〇〇
其他	一五一、〇三
催物	一〇〇一、五七
寄附	六八三、九三
雜收入	四〇四、五二
借入金	一八六、二〇
支出合計	六〇九二、五九
內譯	
俸給	二四〇八、五〇
事務所費	九七五、七一
家賃	三六〇、〇〇

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

光熱水	七六、二六
文房具	九六、一七
通信	一一、六六
電話	二四八、七九
交通	一四、二二
公課	一〇、九二
集金	一九、七六
雑	三七、九三
運動費	二一二、四二
議會	五三、六六
政教	一四、六〇
出版	
調査	四五、七三
組織	六〇、四八
財務	三七、九五
會合費	一一三、一一
總會	四〇、二七
記念會	二六、〇八
理事會	六、三一

中央委員會	四〇、四五
評議員會	
印刷費	六二、七〇
機關誌代	一三二〇、〇〇
交際費	三九四、六四
總務	三六〇、〇〇
一般	三四、六四
加盟費	四五、〇〇
臨時費	七八、六〇
備品	二九、七三
會費割戻	四〇三、一八
返濟	
電話基金	四九、〇〇
差引殘高	一、一六（九年度へ繰越）

（備考）

昭和七年度より繰越の借入金	一五二六、五〇
八年度借入金	一八六、二〇
合計（九年度へ繰越借入金）	一七一二、七〇

右内譯

竹内茂代氏より	一〇五、〇〇
田中芳子氏より	五〇、〇〇
河崎なつ氏より	五〇、〇〇
市川房枝氏より	二四三、八三
金子　茂氏より	一四二、〇〇
某氏より一時借入	一〇六六、八七
市川藤市氏より	五五、〇〇

昭和八年度寄附

合計　六八三、九三

内譯

黒瀬小昌氏（〇、五〇）　林秀子氏（〇、五〇）　佐藤酢氏（五、〇〇）　石倉巳吉氏（四〇、〇〇）　山口那家氏（二、〇〇）　大坪馨氏（五、〇〇）　脇田ふさ氏（二、〇〇）　小林珠子氏（三〇、〇〇）　宮本諮瓊氏（一、〇〇）　中継誠二氏（二〇、〇〇）　北岡壽逸氏（一〇、〇〇）　岩佐富貴子氏（二六、〇〇）　上村鉄子氏（一〇、〇〇）　三谷民子氏（一〇、〇〇）　藤原　郁氏（一、〇〇）　猪野毛利榮氏（五〇、〇〇）　市川房枝氏（五〇、〇〇）　第五回全日本婦選大會特別會計より（六〇、九三）

特別會計の部

（一）機關誌「婦選」昭和八年度決算報告

入金合計	二七六六、〇〇
内譯	
繰越	八、九一
誌代	一五五九、九〇
廣告代	一一九二、八八
雑收入	四、三一
出金合計	二六一六、七八
内譯	
印刷	一六七一、一五
編輯	九五、〇六
發送	一三九、八九
通信	三六、〇二
交通	二三、三六
文房具	六三、二八
謝禮	六八、七八
宣傳	三〇、四九
廣告步、手當、交通	四五〇、七八
雑	三七、九七
差引殘高	一四九、二二（一般會計へ繰入）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

附「婦選」保管金募金報告

前年度より繰越　二九五、三〇

八年度寄附總額　一〇、〇〇

累計　三〇五、三〇

寄附者芳名ー綱織 操氏（三、〇〇）井上まつ氏（一、〇〇）服部 妙氏（五、〇〇）佐々木千代子氏（一、〇〇）

（二）第五回婦選大會々計決算報告

A 婦選獲得同盟會計の分

入金合計　二九七、〇八

内譯

一般よりの寄附　一八四、五七（別項参照）

支部會員よりの寄附　一一二、五一

東京　七九、五一　京都　一三、〇〇

秋田　七、五〇　名古屋　五、〇〇

兵庫　四、五〇　群馬　一、〇〇

廣島　一、〇〇　熊本　一、〇〇

出金合計　二三六、一五

内譯

主催團體分擔金　一〇、〇〇

地方代表に關するもの　一三〇、五三（旅費宿泊費接待費）

議題協議會及ビラまき　八、二八

通信費及交通費　三三、四八

印刷費　一〇、〇〇

雜　四三、八六（寫眞代、手傳謝禮、慰勞費其他）

差引殘高　六〇、九三（一般會計へ繰入）

B 共同會計の分

入金合計　一七二、九〇

内譯

主催團體分擔金及後援團體個人の寄附　一四二、〇〇

當日入場料　三〇、九〇

出金合計　一七二、九〇

内譯

通信費　二二、六九

印刷宣傳費　七九、八〇

後援團體招待費　四、六五

會場費　三四、一〇

雜費　一四、四〇

事務費　一七、二六

差引殘高ナシ

合計　第五回全日本婦選大會寄附　二九七、〇八

内譯

▼各五拾錢宛（一戸伊勢子氏、栗原雪子氏、山崎春枝氏、同 勝子氏、榊原彌生氏、松岡光子氏、深尾香代氏、西冨貴子氏、安惠ふじゑ氏、大橋豊昇氏、堀越敏子氏、坂本ナイ氏、前島のぶ氏、中村政子氏、田畑 染氏、湊乾吉氏、湊 ツネ氏、湊 クニ氏、高山志津氏、内藤セイ氏、伊達昌代氏、小泉キクエ氏、吉田照代氏、早藤松野氏、和崎ハル氏、大屋カツ氏、大島シユン氏、河村シゲ氏、寺内欣子氏、宮本清子氏、石川規矩子氏）

▼五拾壹錢（先崎龜子氏）

▼五拾七錢（無名氏）

▼各壹圓宛（伊東智惠子氏、鬼塚久代氏、笠原敏子氏、木村正子氏、小泉郁子氏、大貫せつ氏、田中芳子氏、杉田鶴子氏、伊東萬子氏、岡田まとひ氏、押川美香氏、戸塚さみ氏、兒玉琴枝氏、野村正子氏、越智キヨ氏、小泉はろ子氏、大畑妙子氏、林 秀子氏、井澤 花氏、宮下博子氏、服部 妙氏、田中金子氏、石橋播雅氏、芝崎スヤ氏、嶋原 晾氏、和名壽也氏、伊藤はま氏、平井 恒氏、八木橋きい氏、鳥渦さい氏、星野香澄氏、八代よし子氏）

▼一圓五拾錢（岩田敏子氏）

▼各二圓宛（大内光枝氏、三谷民子氏、星野 愛氏、西森 元氏、尾張惣七氏、川井さかえ氏、澤田しげ子氏、岩村伊佐子氏、原崎八栗氏）

▼各二圓五拾錢宛（大坪十喜男氏、松本 浩氏）

▼三圓宛（大築初枝氏、岡田和一郎氏、加藤清子氏）

▼各五圓宛（前島美代氏、前島ふく氏、大熊芳子氏、渇目孝子氏、今井邦子氏、小野誠子氏）

▼各拾圓宛（永井次代氏、橋本冬佳子氏、芥洌せき氏、桂 阜氏）

▼拾五圓（竹内茂代氏）

▼各貳拾圓（藤岡卓二氏、鹽澤達三氏、石川武美氏、山田忍三氏）

▼五拾圓（藤岡歌代氏）

（三）代理部決算報告

純益合計　三一六、〇三圓（一般會計へ繰入）

イ、牛乳

賣上總數　六六五、〇〇

牛乳　六二石五斗五勺

バタ　一三三、七五ポンド

クリーム　七升八合

ロ、其他

賣上總數　一五一、〇三圓

ズロース　七六打一〇枚

椎茸　二六八袋

クリーム　一一三ヶ

化粧水　一一本

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

香水	三四本
わかめ	二六四ヶ
靴下	絹、毛　七五足　學生　三四足
ボーネ	一〇ヶ
高圧鍋	一ヶ
カマボコ	四二ヶ
天火	一ヶ
クレパツセル	一ヶ
繪ハガキ	八組
シャンプー	三〇箱

（四）觀劇會決算報告（昭和八年十一月）

入金合計	一一〇三、一二
內譯	
切符賣金	一〇三三、五二（晝一等八〇枚、二等六枚／夜一等六一四枚、二等二〇八枚）
寄附	六九、六〇
出金合計	一〇一、五五
內譯	
通信費	四一、四九
交通費	三一、七二

印刷費	八、五〇
謝禮	一三、〇〇
雜費	六、八四
差引純益	一〇〇一、五七（一般會計へ繰入）

（五）家賃敷金

積立	一五〇、〇〇

（六）電話賦入借入金

前年度より繰越	七〇〇、〇〇
八年度返濟	なし
殘金	七〇〇、〇〇（市川房枝氏より）

右
會計理事　兒玉琴枝
會計幹事　兒玉勝子
會計監督　北澤玉
同　米山久子

婦選獲得同盟第十一年々次總會

昭和九年五月六日(日)午前十時より神田區美土代町基督教青年會館に於て開催。

新規約に基く代議員制最初の總會とて代議員二十三名の數は多からずと雖ども其背後の人々を想へば力強い。傍聽者、來賓皆で五十人足らずが、小じんまりと、然し充實した總會を開く。

定刻より稍遲れて大橋豊喜氏の司會によつて開會、婦選の歌の合唱に次で、市川總務理事は十年の回顧より現狀に及び、婦選運動は決して不振に非ずと激勵、熊本、秋田、松山等の各支部並に社會大衆婦人同盟よりの祝電の披露を了つて議事に入る。

議長市川氏、書記辻泰子氏、報告は會務報告を金子會務理事、政治教育委員會を大內委員長代理、議會運動委員會を市川委員長代理、財務部を熊岡委員、組織部を金子部長より行ひ、各支部報告は、黑部京都支部長、八木橋群馬支部長、小出新潟支部長、堀場愛知支部幹事、辻東京支部長代理の他は一括して金子組織部長より、報告、更に出版部を富澤部長、調査部を辻幹事より報告して一先づ休憩、來賓の挨拶に移る。

佐賀の藤岡歌代氏、前總務久布白落實氏、交々力づよい祝辭を述べられる。扨でお赤飯の折を開いて一同寛談裡に晝食を認める。

一時四十五分再會、會計報告を兒玉會計幹事より、會館建設委員會報告を市川委員より行つて報告全部を了り協議に入る。

一、來年度の運動方針について（藤田たき氏說明）便宜上、東京支部提出の第三議題「本部の支部に對する指導方針について」と、金澤支部提出の第四議題「現下の情勢に於ける地方の運動について」を合併して協議。地方支部より種々本部に對する要求出で、多數の意見が交された結果、委員附托にて左案を得可決。

(1) 對議會運動に於ては、婦選獲得に邁進すると同時に、議會に於ける輿論を婦選に向ける爲、一般婦人問題假へば母子扶助法案等の爲に努力する事

(2) 政治教育、議會運動、會員獲得等に於ても根本的或は具體的な指導、指令を絕えず各支部に出す事

(3) 會員增加運動を旺盛にし且つ會員たる事には躊躇するも誌友ならばといふ人等を誌友に加ふる事に努力し、誌友を會員に昇格せしむる事に努力する事

二、創立十周年記念事業に就て（金子茂氏說明）十年間の足跡を記念すべく「婦選運動十年」なる小册子を今秋發行の事及び、同じく秋季に婦人文化展覽會を開催して、明治以後の婦人の進出ぶりを示し、以て婦選の必要を痛感せしむる事としたいとの原案に對し、趣旨は滿場一致贊成なるも實行に就て種々質問意見出で、結局新中央委員會一任にて可決。

三、秋田支部提出議案「高女公民科をして有意義ならしむる方法如何」は明日の研究會の議題として省略。

四、九年度豫算の審議（兒玉會計幹事說明）別項の通り可決。

以上を終つて役員選擧に移る。初めに豫選について金子選擧委員より報告、總六十九票の豫選投票に基き、代議員廿二名（一名棄權）が投票を行ふ。開票立會人は小栗將江、加藤幸子、八木橋きいの三氏。左記の諸氏が當選した。

市川房枝、金子　茂、富澤美穗、大橋豊喜、小栗將江、大內光枝、大坪英子、加藤　清、平山信子、平田のぶ前島ふく、宮川靜枝、兒玉琴枝、熊岡貞子、（以上東京）黑部　妙、小出チカ、和崎ハル、駒井靜子、八木橋きい（以上地方）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

會計監督　小野誠子、北澤玉子

かくて再び婦選の歌を合唱して五時四十分閉會。會後同所別室に於て懇親晩餐會を催し、翌日は地方代表を本部事務所に迎へて研究會を開催した。

本部昭和九年度豫算

一、一般會計の部

一、支出の部　七六三四、〇〇

内譯

俸給	二三八五、〇〇
事務所費	一〇二二、〇〇
家賃	三六〇、〇〇
光熱	八〇、〇〇
文房具	一〇〇、〇〇
通信	一二〇、〇〇
電話	二四〇、〇〇
交通	二四、〇〇
公課	一二、〇〇
集金	五〇、〇〇
雑	三六、〇〇
運動費	八六〇、〇〇
議會	二〇〇、〇〇
政教	五〇、〇〇
組織	二〇〇、〇〇
出版	一〇〇、〇〇
調査	一五〇、〇〇
財務	一六〇、〇〇
會合費	三三二、〇〇
總會	一七〇、〇〇
記念會	五〇、〇〇
理事會	六〇、〇〇
中央委員會	四二、〇〇
評議員會	一〇、〇〇
印刷費	六〇、〇〇
誌代	一二〇〇、〇〇
交際費	四一〇、〇〇

總務	三六〇、〇〇
一般	五〇、〇〇
加盟費	四五、〇〇
臨時費	三〇、〇〇
備品	五〇、〇〇
會費割戻	六〇〇、〇〇
返濟	五〇〇、〇〇
電話基金	一四〇、〇〇

二、收入の部　七六三四、〇〇

内譯

會費	三〇一〇、〇〇
正會員	一二〇〇、〇〇
會友	五〇、〇〇
維持會員	八〇〇、〇〇
同會友	一六〇、〇〇
增加正	六〇〇、〇〇
維	二〇〇、〇〇
事業費	二一二〇、〇〇
牛乳	八〇〇、〇〇
其他	二〇〇、〇〇
印刷	一二〇、〇〇
他物	一〇〇〇、〇〇
寄附	二五〇四、〇〇

二、特別會計の部「婦選」

贊助費	二〇〇、〇〇
臨時寄附	五〇四、〇〇

一、收入の部　三〇三〇、〇〇

内譯

誌代	一五九〇、〇〇
廣告	一四四〇、〇〇
雑收入	—

一、支出の部　三〇三〇、〇〇

内譯

印刷	一七〇〇、〇〇
編輯	三四〇、〇〇
發送	一五〇、〇〇
通信	三六、〇〇
交通	二四、〇〇
文房具	六〇、〇〇
謝禮	一二〇、〇〇
宣傳	六〇、〇〇
廣告手當	二四〇、〇〇
歩合	二一六、〇〇
關係交通	五〇、〇〇
雑	三四、〇〇

婦選獲得同盟會報
第二十一號

昭和九年十二月十日印刷
昭和九年十二月十五日發行
非賣品

編輯兼發行人　金子茂

印刷所　東京市麴町區麴町二ノ三ノ三　婦選印刷部

發行所　東京市麴町區麴町二ノ三ノ三　婦選獲得同盟
電話九段(33)四〇二一番
振替東京七〇三八三番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA